

# 言葉・ことば・コトバ

51期生

## I テーマ設定の理由

最近、TVや新聞で「今時の若い人のことばは乱れている」という声をよく聞きます。若い人のことばはわからない、若い人は敬語を使えていない…。いろいろ言われているけど、本当にそうなのか。また、そう言っている大人はどうなのか調べてみようと思い、このテーマを設定しました。

## II 研究方法

- (1) 文献調査
- (2) アンケート調査 附中生100人、他校生20人にアンケート実施
- (3) 聞き取り調査 ①同志社国際中学の帰国子女に、外国語に流行語や敬語はあるのか聞く。  
②講演会を聞きに行く。
- (4) 世論調査 「国語に関する世論調査」より、日本全国の状況を知る。

## III 研究内容

### 1. 言葉の乱れ

#### (1) 敬語の乱れ

尊敬語、謙譲語の使いわけができていない…など言葉の乱れとして非難されるのは、敬語関係がよくあげられます。最近、間違った敬語の使い方としてよく指摘されるのが、右のマンガでも使われているように「～じゃないですか」という言い方です。10代の人がよく使うため、若者ことばともいわれます(図2)。

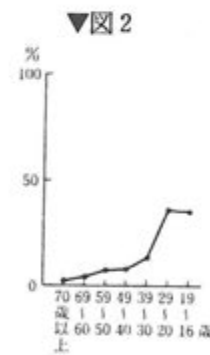


図 VI-1 「～じゃないですか」の年齢別割合。「校生前に前を置くじゃないですか、その時に…」という人の割合(文化庁「国語に関する世論調査 1997年」)

「間違っている敬語」といわれる理由は

- ・唐突な感じがする
- ・押しつけがましく感じる

などで、特に年配の人はこの言い方を嫌い、強い抵抗を感じるそうです。



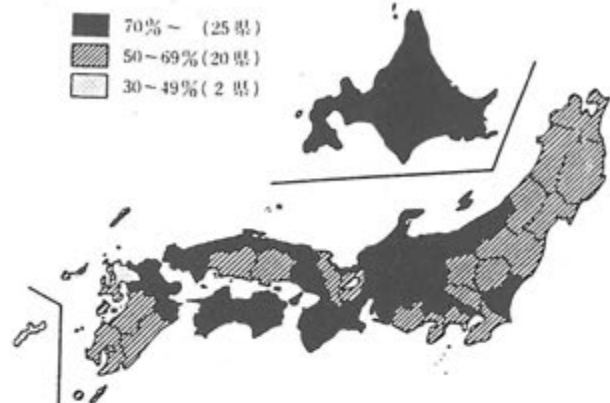
▲図1 朝日新聞

(2) ラ抜きことば

「食べることができる」ということを表すとき、どんな言い方をしますか？ 正しくは「食べられる」と言うべきですが、最近「食べれる」という言い方もよく聞きます。これは「ラ抜きことば」と言われ、よく問題とされていることばの一つです。

ラ抜きことばそのものは100年以上前から使われていたのですが、使用率は大阪で10%程度。それが戦後じわじわと広がり、私達の世代では70%以上もの人がラ抜きことばを使っています。このようにラ抜きことばは時間をかけて少しずつ広まっていったため、「乱れ」なのかそれとも「日本語そのものの変化」なのか意見は分かれています。

▼図3 ラ抜きことばの使用率 (1980年代生まれの中学生)



「着れる」の使用率 (県平均)

(3) 流行語について

「若者のことばは乱れている」といわれる理由の半分くらいは、この流行語に関係があるのではないのでしょうか。右のグラフは高校生にとったアンケートですが、流行語を中心となって使っている高校生の6割ほどが、自分達のことばの乱れを自覚しています。

乱れている、と思いつつ使う流行語。毎年毎年、新しいタイプのものが次々と生まれます。一般的に高校生の新語が生まれるのは夏休み後の9月あたりらしいのですが、これらはどれくらいの期間使われると思いますか？

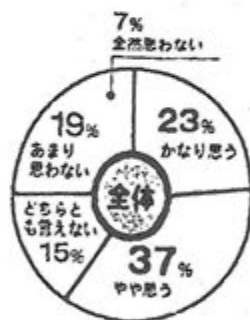
実は、半年後には大半が姿を消し、死語となってしまいます。1年ももてばいい方なんですよね。まして、2年、3年と使われた流行語なんて思いっきりですか？

- チョベリバ、チョミラバ
- MM、MK5、EE
- ルーソー、オケボ
- ウーロン茶、圏外
- ~みたいナァ、~かも、~系

「キャンパス用語集」より

▼図4 乱れの自覚

今の高校生の言葉は乱れていると思う？



左は1996~97年の流行語ですが、ほぼ全てが死語になっています。高校生の言葉が乱れているのはちゃんとした本を読まないからだノと言われたりもするようですが、アンケートでは半数以上の高校生が「本を読むことは好き」と答え、好きな作家ベスト5にも芥川龍之介や夏目漱石がランクインしているんです。不思議ですね…。

(4) その他の乱れ

「休ませていただきます。」を「休まさせていただきます。」という「さ入りことば」が、気になる表現としてあげられています。

2. 若者のことばは本当に乱れているのだろうか

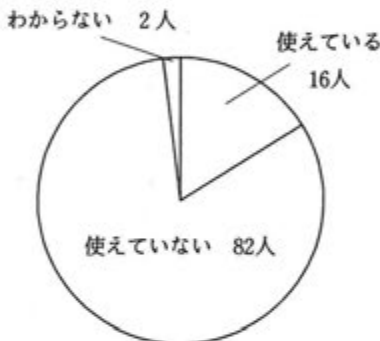
「言葉の乱れ」といわれることをいくつか調べてきましたが、若者のことばは本当にそれほど乱れているのでしょうか。そう疑問に思ったので、附中生100人(男女各50人)にアンケートを実施しました。

(1) 乱れの自覚(アンケートより)

▼図5 あなたは自分が敬語を正しく使えていると思いますか？



▼図6 最近の若い人は敬語を使えていないと思いますか？



男女とも、過半数の人が自分は敬語を正しく使えていないと感じているようです。また、図6のように質問の対象を「自分」から「若い人」にかえると評価はさらに厳しくなり、約8割の人が「今時の若い人は敬語を正しく使えていない」と答えました。

(2) 中学生のことばは本当に乱れているのだろうか

多くの中学生が自分は敬語が使えていないと思っていますが、本当にそうなのでしょうか？そこで、どれくらい敬語を理解しているのか調べるため、敬語に関する問題を5問解いてもらいました。問題は以下の通りです。

Q. この中でおかしいと思う敬語の使い方に×をつけて下さい。

- ① 受付でおうかがいしてください。
- ② くさりやすいので、今日中にいただいでください。
- ③ 先生がおっしゃったことですが…。
- ④ はい、それは私でございます。
- ⑤ 先生が心配いたしますよ。

答えは①、②、⑤です。全問不正解、1問だけ正解という人は1人もいませんでした。全問正解の人が100人中43人、

4問正解の人は30人…と多く、附中生は敬語の使い方をわりと正しく理解しているといえそうです。

(3) 敬語を使えている!? 中学生

前ページの①の問題文「受付でおうかがいしてください。」これは、1997年1月の『国語に関する世論調査』で実施された質問文と全く同じものをつかいました。

すると、私がこの研究をするきっかけとなった「若者のことばは本当に乱れているのだろうか」という疑問に、答えらしきものが浮かびあがってきたのです。

世論調査での正解率は56%だったのに対し、附中生は85%というはるかに高い正解率でした。また、附中生以外の中学生にも同じようにアンケートをとって見たところ、やはり83%という高い正解率でした。日本全国の中学生にアンケートをとったわけじゃないしはっきりとは言い切れませんが、敬語を理解している中学生もたくさんいるんだ、と言いたいと思います。

(4) 流行語のイメージ

流行語のイメージについて答えてもらいました。

▼アンケート結果  
イメージBest 3

1. 女子高生
2. 何でも短縮
3. すぐ消える

やっぱり流行語は女子高生! というイメージが強いようです。その他のイメージもたくさんあったのでいくつか紹介します。

- |                |              |        |
|----------------|--------------|--------|
| ・ナウい           | ・まちがえている言葉   | ・おもしろい |
| ・本来の日本語がくずれている | ・はずかしい言葉     |        |
| ・斬新            | ・へん・意味がわからない | ・東京弁   |
| ・いつも口ずさむ       |              | — 他多数  |

たくさんあった流行語のイメージを良いイメージ、悪いイメージにわけてみたところ、悪いイメージのものが圧倒的に多く76.9%でした。良いイメージは23.1%。流行語はみんな少しは使っているから、良いイメージの方が多いかな…と思っていたので少し意外でした。

3. 海外の敬語

あるニュース番組で、言葉の乱れについての話がでたときのことです。出演者の1人が「敬語は日本にしかないんだから、大切にしてほしいですね」と言いました。本当にそうなのでしょうか? 帰国子女の人に話を聞いてみました。(話のままに掲載)

(1) アメリカ

敬語…っていうのははっきりしたものはなく、先生も呼びすて。でも、ものをたずねたりするときに丁寧な表現はある。例えば、

— Will you help me? を Would you help me? と言ったり。

(2) イギリス

ないです。(一言で言われました。イギリスも英語だから丁寧な表現はあるはずですが、敬語とは思われていないようです)

(3) ドイツ

あるのかなのかよくわからない。

(4) タイ

たくさんあります。言葉の最後に女の人なら“カー”をつけて、男の人なら“クラブ”をつけると敬語になります。

日本では敬語がたくさんありますが、どこの国でもあるかというところでもありません。やっぱりこれは文化の違いでしょう。日本は「たて社会」と呼ばれ、目上の人に敬意を示すため、豊富な敬語が必要になります。それに比べ欧米はとて大らか。先輩のことも呼びすてだそうす。どっちがいいとはいちがいに言い切れませんが、文化の違いはおもしろいものです。

4. これからの言葉づかいの在り方

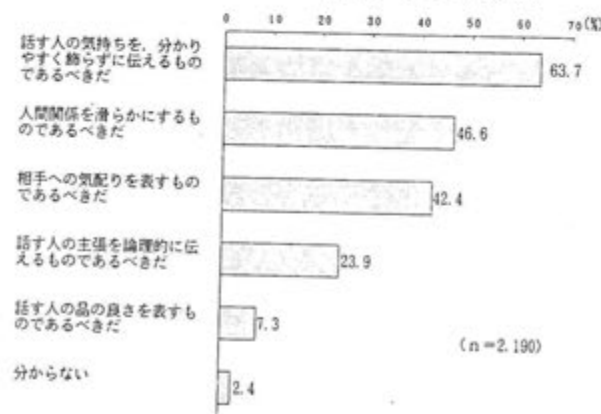
日本語は、ものすごく変化の速いことばだということを聞いたことがありますか? 英語なら400年くらい前のものでも、わりと楽に読めるそうですが、日本語で400年前のもの…というのと、ずいぶん今とは違う文章です。最近では方言の変化も激しくなり、関西で関西弁のアクセントが失われたら、九州で関西弁がはやった…なんてこともおこっています。

言葉は時代にあわせて変化していく。この変化は止められるものではないし、止めるべきではないと思います。

ではこれからの時代の言葉づかいはどうあるべきなのでしょう? 考えは人それぞれあるでしょうし、一つに決める必要もありません。

「日本語のもつ伝統的な部分を大切にしながら、新しい時代にふさわしい表現を考えるべきだ。方言も最近失われつつあるようだが、大切にしていってほしい」というのが私の考えです。

▼図9 これからの言葉づかいの在り方



▼図7 朝日新聞 ('98年11月29日)

ちやうやろ  
その関西弁

海「雨」の発音、区別できる? 51人調査

「海」の発音、関西弁と標準語で区別できる? 51人調査の結果、関西弁では「海」の発音が「あゐ」となり、標準語では「うみ」となる。調査結果は以下の通り。

発音	人数
あゐ	10
うみ	41

また、「ちやうやろ」の発音についても調査が行われ、関西弁では「ちやうやろ」となり、標準語では「ちやうやろ」となる。調査結果は以下の通り。

発音	人数
ちやうやろ	10
ちやうやろ	41

▼図8 朝日新聞

「関西弁よか」

九州の若者に浸透

「東京より好きやねん」

「マクド」使う20代30%

九州の若者に浸透している関西弁の言葉について調査が行われ、結果は以下の通り。

言葉	割合 (%)
マクド	20
好きやねん	30

#### IV 結 論

毎日毎日、当然のように日本語で会話し、日本語で考える私達日本人。そんな毎日つかっている言葉でも、難しい、と感じることは多くあります。例えば敬語。敬語というのは目上の人への敬意だけでなく、相手との距離も表します。使いすぎると、敬意だけでなく距離の方も強調されてしまい、かえってよそよそしい感じがしてしまうものです。流行語も似たことが言えます。仲間うちでは誰も何とも思わない言葉でも、大人が聞くと「乱れ」だ、と言われてしまったり…。言葉というのは、人と人とがコミュニケーションをとる上での大切な手段です。敬語にしても流行語にしても、場面と相手とを考えて使いこなすことができれば、よりよい人間関係をつくるのに役立つのだと思います。

また、日本語はものすごい速さで変化している…ということもわかりました。だとしたら、私達はもっと日本語を知るべきです。日本語のもつ良い部分、悪い部分、そういったものを知った上で、これからの時代にあった新しい表現をつくっていくことが必要だと思うし、そうすれば、前ページの「これからの言葉づかいの在り方」で多くの人が望んでいた、「話す人の気持ちを、分かりやすく飾らずに伝える」新しい日本語ができていくのだと思います。

#### V 総 括

「若者のことばは本当に乱れているのだろうか」そんな疑問がもとではじめた研究ですが、割合でいうとやっぱり乱れている人も多いようです。でも、そんな人ばかりかというところでもないし、正しい言葉づかいを理解している人もたくさんいることがわかってうれしかったです。

それに、少しくらいなら「乱れて」いてもいいんじゃないかと思います。もちろん正しいにこしたことはないですが、結論でも書いたように日本語には難しいところがたくさんあります。だから、今は完璧じゃなくても、少しずつ理解していけばそれでいい。私自身、日本語で知らないところもたくさんあります。そういうことを学んでいくのも、“日本語の楽しさ”ではないでしょうか。

#### VI 参考文献

- ・井上 史雄 (1998) 「日本語ウォッチング」 岩波新書
- ・小林 信彦 (1997) 「現代〈死語〉ノート」 岩波新書
- ・林 四郎 (1992) 「例解新国語辞典」 三省堂
- ・文化庁 (1997) 「国語に関する世論調査」大蔵省印刷局